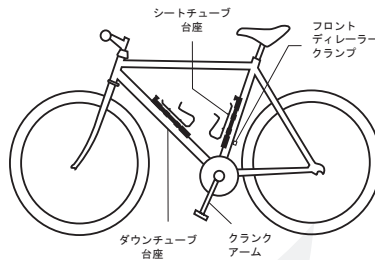


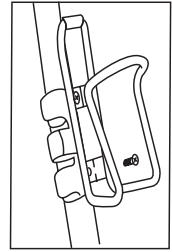
フレームへの取り付け方

1. 付属のポンプ取付キット（以下「サイドクリップ」）を、ポンプがボトルケージの横に装着されるよう設置します。
2. ポンプは自転車の左側（チェーンステアの反対側）に取り付けます。
※フレームのダウンチューブへの取付をおすすめします。
3. フレームのシートチューブに取り付ける際、ポンプがフロントディレーラークランプと干渉しないかどうか確認します。
4. ポンプをお好みのポジションまで上げて、クランクアームと接触しないかどうか確認します。
※アームの内側に5mm以上のクリアランスが必要です。

フレームへの取り付け



サイドクリップの取り付け



サイドクリップの取り付け方

1. ボトルケージを取り付けた自転車の場合、ケージをフレームから取り外します。
2. ケージとフレームの間にサイドクリップをはさみこみ、通っていることを確認してテープ等で仮固定して下さい。
3. ケージの位置を再度調整し、ボルトをケージ、サイドクリップ両方に通します。
4. ボルトを締める前に、ポンプがフレームに極力近づくよう、サイドクリップポンプの位置を調整します。
5. ボルトをしっかりと締めます。
6. ポンプをクリップに取り付け、ストラップをしっかりと締め、確実に固定して下さい。

注意！

- ・ストラップを締め忘れると、走行中ポンプが外れる恐れがあります。十分にご注意下さい。

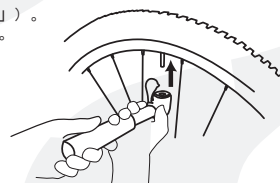
空気の入力方

1. ポンプヘッドがタイヤのバルブ形式に合っているかどうか確認して下さい（下記「バルブの切り替え参照」）。
2. ポンプヘッドをバルブに挿入します。入りにくい場合は、バルブヘッドを反時計周りにして若干緩めます。
3. ポンプヘッドを固定し、時計周りに4分の1周まわります。
4. ポンプが固定されるのを確認し、お好みの気圧まで空気を入れます。
5. ポンプ固定時とは逆回転に回し、慎重にヘッドをバルブから外します。

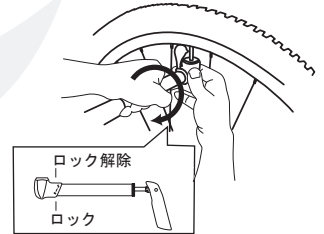
注意！

- ・仏式バルブはバルブコアが折れやすいため、ポンプヘッドの取り外しには十分ご注意ください。
- ・ポンプヘッドとバルブ形式が一致していない場合、空気が充填できません。

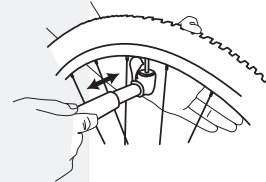
バルブを差し込む



ロックする



空気を入れる



2ステージ切替え（対応モデル：Air Stik 2stage / Mammoth 2stage）

低圧/高圧の2段階に切り替えることによって、低圧時はより早く、高圧時にはより楽にポンピングすることが可能です。



LOWで低圧ポンピング対応

HIGHで高圧ポンピング対応

バルブの切り替え

ご使用のチューブのバルブ形式に応じてポンプヘッド部を組み替えてご使用頂けます。

（対応モデル：AirStik SL / Mammoth / Mammoth 2Stage / Mountain Air）

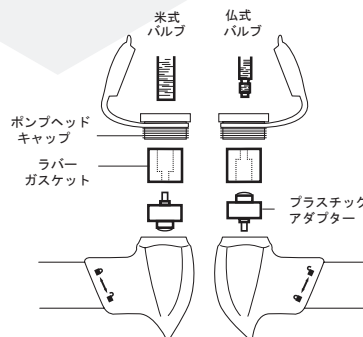
1. ポンプヘッドキャップを回して外します。
2. ラバーガスケットと、プラスチックアダプターを取り除きます。
3. 取り除いた中身を反転させ、バルブ穴に差し込みます（右図参照）。

バルブの交換

仏式専用ポンプ（対応モデル：AirStik SL / Air Stik 2stage）

1. ポンプのヘッドキャップを回して外します。
2. ラバーガスケットと、プラスチックアダプターを取り除きます。
3. 新しいパーツと交換させ、バルブ穴に差し込みます。

米/仏式兼用ポンプ



仏式専用ポンプ

